小樽港が公益社団法人日本港湾協会の「ポート・オブ・ザ・イヤー 2024」を受賞！

小樽市　産業港湾部港湾室

●小樽港の概要

小樽港は、北海道の西部、積丹半島の東側、石狩湾に面する弓状に入り込んだ海岸線に位置しております。札幌市手稲区に隣接し、札幌市中心部との距離は約 40km、札樽自動車道と港が直結しているほか、北海道の空の玄関口である新千歳空港とは、快速電車で約 1 時間で結ばれ、交通アクセスにも優れています。

古くからニシンやサケの豊漁地として知られた石狩湾に面し、重要な北前船寄港地として交易が盛んに行われていましたが、明治初頭になると石炭の積出しや内陸部への物資供給の中継港として発展し、その後、明治 32 年に外国貿易港に指定され、昨年で開港 125 年を迎えた歴史ある重要港湾です。

大正時代の小樽港（小樽市総合博物館所蔵）

小樽市は、港を中心として市街地が形成され、港の周辺には、北海道有数の観光地として知られる小樽運河や、石造倉庫と歴史的建造物が数多く残る街並みがあり、貴重な観光資源となっています。

現在も、北海道日本海側の物流拠点港としての機能を有しつつ、近年では、クルーズ拠点港として国内外の多くの船が寄港するなど、観光分野でも重要な役割を果たしています。

●北海道日本海側の物流拠点港

小樽港は、長距離フェリー航路により、新潟港、舞鶴港と結ばれており、日本海側の国内輸送拠点として重要な役割を担っているほか、北海道の穀物基地として古くから穀物関連の機能集積が図られてきました。

中でもフェリーの小樽新潟航路は本年度で航路開設から 50 年を迎え、長年にわたり北海道と本州の物流・人流を支えています。

また、国際物流拠点である中国・上海との定期コンテナ航路のほか、ロシア・ウラジオストクとの定期航路が就航しており、不定期の貨物船の往来も含め、対岸諸国との貿易拠点としての役割を有しています。

小樽新潟航路開設 50 周年式典（出港時のお見送り）

●大型クルーズ船による新たな人流

小樽港は、これまでもクルーズ船誘致に積極的に取組んでおりましたが、6 万ｔ以上の大型クルーズ船の受け入れは、市内中心部から約 3.5km 離れた勝納ふ頭に限られていたため、乗船客が市内中心部にアクセスしづらいことが課題でした。

このため、小樽市は、市内中心部に近接する第 3 号ふ頭周辺の再開発に着手し、令和 5 年度には、既存上屋の一部を改良した小樽港クルーズターミナルと大型バス駐車場の供用を開始し、さらに令和 6 年度には、大型クルーズ船対応岸壁の供用を開始しました。

これにより、14 万ｔ級の大型クルーズ船を第 3 号ふ頭で受け入れることが可能となり、乗船客の利便性が格段に向上しました。

クルーズ船の乗客が徒歩で市内を回遊することが可能となり、大型クルーズ船の寄港日には、市内随所で多くの外国人乗客の姿が見られるようになりました。また、巨大なクルーズ船を間近で見るため、市民や観

第３号ふ頭に係留する大型クルーズ船

光客が数多く港を訪れるようになり、港を起点とした新たな人流が生まれたことを実感しています。

こうした取り組みにより、クルーズの誘致に貢献したとして評価され、小樽港の港湾管理者である小樽市は、日本外航客船協会の「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2024」の特別賞に選出されました。

●みなとオアシス小樽

小樽港の第３号ふ頭及び周辺地域では、このほかにも、官民で連携した再開発を進めており、令和６年３月には、観光商業施設である「小樽国際インフォメーションセンター」がオープンし、この施設を代表施設として周辺が「みなとオアシス小樽」に登録されました。

観光船ターミナルのイメージパース

「おたる潮まつり」大花火大会

さらに、小樽を代表する夏の風物詩である「おたる潮まつり」の会場でもあるこの周辺地域には、令和７年度末を目途に、緑地や観光船ターミナルの整備が進んでおり、新たな「みなと観光」の拠点として、今後大きく様変わりするものと考えています。

今後も、多言語案内看板のハード面の整備、乗客の回遊を促すソフト面の充実などを進め、クルーズ船の寄港を起爆剤として、関連消費を域内経済に波及させる取組を官民連携して進めてまいります。

クルーズ船対応岸壁供用記念式典

●「ポート・オブ・ザ・イヤー 2024」受賞

こうした様々な取り組みにより、その年で一番「みなとの元気」を高めた港湾として評価され、小樽港が「ポート・オブ・ザ・イヤー 2024」に選定されました。

関係する皆様や、小樽港に投票いただいた皆様に、感謝を申し上げます。この受賞をさらなる飛躍の契機ととらえ、これからも小樽の強みである「港」を生かし、「強みを生かしたまちづくり」を進めてまいりますので、今後ともお力添えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

ポート・オブ・ザ・イヤー 2024 表彰式